

会議録

会議の名称	中野市市民会館整備方針（案）に係る市民説明会
日時	令和2年8月19日（水） 午後6時30分～午後7時12分
会場	豊田文化センター ホール
出席者等	<ul style="list-style-type: none">・参加者 9人・市出席 7人 市長、副市長、総務部長、くらしと文化部長、政策情報課長、財政課長、文化スポーツ振興課文化振興係長、・中野市市民会館リノベーション設計業務受託者 2人（内1人はWebシステムでのオンライン参加）
次第	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 あいさつ3 中野市市民会館リノベーション基本設計(案)について4 質疑5 閉会
発言内容等	別紙のとおり

(別紙)

中野市市民会館リノベーション基本設計(案)に係る市民説明会 会議録

日時 令和2年8月19日(水)
午後6時30分～午後7時12分
会場 豊田文化センター ホール

1 開会

2 あいさつ

(市長)

皆さん、こんばんは。中野市市民会館リノベーション基本設計案に係る市民説明会にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

皆様方には、お仕事を終えられてお疲れのところ、説明会にご出席いただき、厚くお礼申し上げます。

市民会館につきましては、昭和44年の建設から50年以上が経過し、耐震性の不足や老朽化など様々な課題を抱えていることから、今年の3月に策定した「市民会館整備方針」において、「安全・安心の確保」「財政負担の軽減」「新たな価値の創造」の観点から、現在の建物を大規模改修し長寿命化する、いわゆる新しい価値をプラスする「リノベーション」により整備することとし、基本設計を進めて参りました。

リノベーションの主な内容としましては、大ホールの大規模改修、多目的ホールや市民創造回廊の新設、そしてバリアフリー改修などを計画しております。

このリノベーションは、単なる施設の改修ではなく、将来にわたって施設を使用していくために必要とされる使い方や機能を整え、新たな価値を生み出すものであり、これから先も市民の皆様にあいさつされ、そしてなおかつ音楽都市「中野市」にふさわしい市民会館になるものと確信しております。

本日は、平面計画や音響計画などをまとめた基本設計案についてご説明をさせていただきますので、より良い施設となるよう、忌憚のないご意見やご要望をお願いいたします。皆様のご理解を頂きながら事業を進めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願いを申し上げます。以上を、申し上げまして、ごあいさつとさせていただきます。

どうぞよろしくお願いをいたします。

3 中野市市民会館リノベーション基本設計(案)について

- ・整備方針について、くらしと文化部長から説明。
- ・基本設計(案)について、設計業務受託者から資料に基づき説明。

4 質疑応答

(市民A)

〇〇と言います。よろしく願いいたします。まず大ホールについてなんですけども、イスが52センチと書いてあるんですけど、ちょっと狭いような気がするんで、ちょっと客席を少なくしてでも、もうちょっとゆったりした方がいいのかなと思います。

それから、多目的ホールですけど、これ当初の予定だと、もうちょっと大きなイメージだったんですけど、だいぶ部屋が狭いですよね。せり出し式のこういう客席でなくて、平面だけで利用するか、部屋自体もうちょっと広い方がいいのかなと。一番前の席から壁までの距離って5メートルくらいしかないとと思うんですけど、そうするとこれピアノの絵もかいてありますけども、ピアノを演奏するにも狭いし、何かやるにもステージで発表する場として狭いと思います。

それから、まちなか交流ロビーですけど、水回りがないので水回りを持ってきてもらいたいかなと。マルシェとか色々なことをやるには水回りは必要かなって思います。

それと、エレベーターなんですけど、いま東側の入口の傍なんですけど、東側は車が着けられないと思いますので、エレベーターはちょっとここには不向きかな、もうちょっと事務室側に出来た方がいいかなと思っています。

あと、ちょっと全体的に、部屋が狭いかなと思います。例えば会議室も、これ1・2・3ってあるんですけど、今までは会議室が41と42とあって、これ会議室1の広さって、今までの45とか46よりも狭いくらいだと思うんですけど、それがこれだけのスペースの会議室で足りるのかな、っていうのが一つ。

それから、多目的ホールの平面図にイスとか結構並んでますけど、このイスとか机とかはどこに収納する予定なのか。収納する場所があるのかなというか。あとは大ホールにもイスとか譜面台とか色々な物があると思うんですけど、ひな壇とか、そういったものはどこにしまっておく想定をされているのかなとか、その辺がある程度決まっているのであれば教えてもらいたいです。

(設計者)

まず、イス席が幅52センチということですが、こちらの方は、今現在1000を超える客席数がございます。その中で、とにかく今、みなさんお座りになって狭いと思います。52センチといのは、通常、今、大きなホール等に設けられてる標準的なサイズでございます。ですからそういったことを踏まえ、そしてなおかつ観やすさを考えた時にですね、前の列と半分ずつ、ずらしながら視認性を確保して観やすさ、そういった配列等含めて、併せて工事をします。イスの52センチといのは、ゆったりという訳にはいきませんが、少なくとも今よりかなりゆったり感は感

じられるイスだと考えております。

それと、ちょっと順番違ってしまうかも知れないですけども、まちなかロビーに水回りが欲しいというような形、そちらの方はそうですね、まちなかロビーそのもので市民の皆さんが水を使うというケースは、ちょっと考えにくいんですが、先程いただいた時に、マルシェという使い方は、会議室棟の外庇の下で大きく考えられると思いますので、そういったことについては、必要な水回りを整備していきたいと考えております。

あと、会議室等、狭いといったご指摘いただきました。こういった部分に関しましては、ひと部屋ずつ使うと、仰るように狭い。しかしながら可動間仕切、そういった物を使いながら数だとか広さだとか可変的に使っていきたいと思います。多目的ホールそのものも平土間になります。収納の仕方は、今回こちらのホールと同じように後ろに折りたたみイスで全席収納されますので、こういった部分も中規模の会議室として利用できます。そしてさらに、2階のリハーサル室、そういった部分も時には会議室スペースとして利用していただけるのではないかなと思っております。

その他、ちょっとエレベーターの位置にご意見いただいたんですが、確かに、入り口側からすると皆さん南側がエントランスの脇に欲しいという部分は確かにあるのかもしれませんが。しかし既存の建物の中にどういった位置に使いやすいエレベーターが設置できるかということ考えた時にですね、多目的トイレだとかそういった水回り、また、立志館高校側に風除室入口もございます。そういったアプローチを考えた時に今の段階の中ではこのエレベーターの位置も一つの提案になっているのかなというふうに考え示させていただいております。

あと収納部に関しましては、いろいろな物を可動式にしておるんですが、今回、舞台の袖ですとか、いろんな部分をかなり広めに確保しております。そういった部分で大ホールの関係の備品、そういった物を置くスペースとして確保し、また、舞台の後ろに廊下がございます。その後ろに倉庫、そういったスペースがございまして収納に関してはそういった部分を有効活用して運用していきたいなというふうに思っております。

多目的ホールの広さは、比較はできないですが、実際今の会議室棟の大きな会議室の部分の床を抜いて吹き抜けの多目的ホールとしております。大きさからいうと13メートル×16メートル。この部屋（豊田文化ホール）の客席数が約500前後ですかね。そうするとほぼ半分ぐらいの大きさ、ちょっと狭いぐらいかなというイメージです。

（くらしと文化部長）

また検討させていただく部分は検討させていただきますのでよろしくお願いたします。

- ・パブリックコメント募集の案内
- ・リノベーションラボの募集の案内

5 閉会